

### (3) WWL (ワールド・ワイド・ラーニング) コンソーシアム連携校との交流

#### ア 学校法人 関西学院主催 Second International Online Meeting 令和3年6月24日(木)

「あなたにとっての平和とは? コロナの中での平和・私にとっての平和・国にとっての平和」というテーマで開催され、本校からは企画運営委員として2名、一般参加者として2名の生徒が参加した。日本、インドネシア、インド、エジプトなどの高校生も参加し、自国の紹介やそれぞれの国にとっての平和についてプレゼンテーションを行った。その後はグループディスカッションも行い交流した。企画運営委員の生徒は、他校の生徒とともに準備と運営にあたった。全て英語で行われたが、問題なくコミュニケーションをとっていた。

#### イ 学校法人 関西学院主催 Final International Online Meeting 令和3年9月30日(木)

「SDGsと私たちの学び 高校生の私たちに出来ること」というテーマで開催された。本校からは、企画運営委員として1名、発表者として3名の生徒が参加した。本校は、「What can high school students do to save the life of the sea?」という研究課題で発表を行った。その後ディスカッションを行い、最終的にそれらをもとに「共同宣言」の作成と発表を行った。文化祭前の忙しい日程であったが、3人の発表者は放課後に熱心に発表準備を行った。生徒たちは、他国や他校の発表を聞いて、様々な考え方や価値観に気づくことができた。

#### ウ WWL生徒交流会 令和3年11月20日(土)

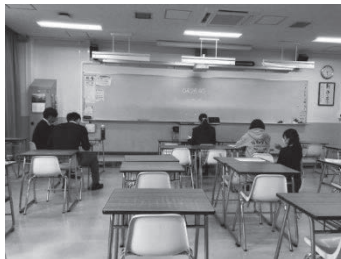
WWLコンソーシアム連携校の生徒との交流会に1名の生徒が参加した。当日までの事前準備は全てオンライン上で行われ、実行委員および発表者として参加した1名の生徒は、他校の実行委員とともに、会の企画・運営を行うとともに、自身の課題研究での取組について発表した。発表テーマは、「音楽と心理 ～人間の心を癒す音楽は何か?～」であった。放課後残って発表準備に熱心に取り組んでいた。これにより課題研究の過程を振り返り、自分の言葉で語ることで、自身の実践内容について理解を深めていたように感じる。

当日は、実行委員および発表者として現地(関西学院高等部)へ赴き、他校生とともに、講演を聞いたり、ディスカッションに参加したりなどした。オンラインによる企画会議や打ち合わせを重ねてきた生徒たちだが、当日初めて直接会うことができ、親しげに言葉を交わす様子が見られた。

終了後は、実行委員の反省会が開かれ、グループに分かれて意見を出し合っていた。生徒の企画・運営により実施された交流会の成功によるこび、満足感と達成感を感じていた。

以下、当日のプログラムを記載する。

- ① 開会式(15分間)
- ② SDGsについての講演(50分間)担当:新垣 治氏(国際基督教大学教授)
- ③ SDGsについての講演(50分間)担当:枝廣 淳子氏(大学院大学至善館教授・幸せ経済研究所所長)
- ④ 高校生同士のブレイクアウト・ディスカッション(30分間)上記①と②の講演に基づいて行うディスカッション
- ⑤ WWL拠点校・連携校による取り組み発表(60分間 ※1校あたり発表10分・質疑応答5分)
- ⑥ 閉会式(15分)



#### <次年度に向けて>

参加した生徒たちは皆、熱心に活動していた。オンラインによる活動が大半であったが、それ故に気軽に集い、交流することができたと考える。他校との交流が生徒にとって大きな刺激となった。対面での交流ができない状況は続くが、来年度も1人でも多くの生徒が参加できるように働きかけていきたい。